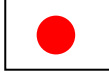


慶祝 天皇陛下御即位



しろたへ

第十七号

安房神社報



台風十五号により倒れた授与所前のサルスベリ

あめつち

天地の中にみちたる草木まで

神のすがたと見つつ恐れよ

—ト部兼邦・兼邦百首歌抄—

天地のうちに自然に生育している草木に至るまで、すべては産靈うぶすなの神のお働きにより、そこに生命を受けて存在しています。天地の自然物は産靈の神の表現であり、産靈の神がそこに現れていると言えます。自然の妙功、それ自体が神の姿そのものだと見てよいでしょう。そのものを神と見るとき、自然物たる草木さえ奇しくも尊いものと見られるべきでしょう。

また自然の姿そのものが人間の姿、心に対し、何らかの教訓を垂れているときも見られます。人間は自然から教えられることが多い。そこに自然に対する慎み、それが教訓としては、恐しこみの心を与えることとなります。自然と人生との触れ合い、そこに親しみと畏敬があります。この度南房総は台風十五号により甚大な被害を被りました。各ご家庭の防災対策は万全だったでしょうか。

今一度、振り返ってみることが大切ではないでしょうか。

《執り行われた主な祭典》

五月 一日	午後二時半	御田植祭
五月 十日	午前九時半	下の宮祭
五月二十七日	午前九時半	海軍落下傘部隊慰霊祭
六月 十日	午前九時半	厳島社祭
六月三十日	午後四時半	夏越の大祓式
七月 十日	午前八時	忌部塚祭
八月 十日	午前十時	例祭
九月 七日	午前三時	抜穂祭
九月 十日	午後九時	御仮屋祭
九月二十七日	午前九時半	琴平社祭
※毎月一日	午前九時半	月次祭

安房国司祭

※本年は中止となりました

千葉県が無形民俗文化財にも指定されている祭事(通称・やわたんまち)。

安房国の総社である鶴谷八幡宮境内において九月の二日間にあつて執行されます。今から約一二九〇年前の養老二年(七一八)、安房国の国司が、かつて三芳村府中(現南房総市府中)に鎮座した八幡宮境内に、近郷に祀られている神社の神々をお招きし、国内の平安を祈ったことに由来すると伝えられる、国司制度の時代の風習を今に伝える貴重な祭典です。

二日目には八幡宮境内で十一基の神輿と五台の山車・御船による、勇壮な祭典絵巻が繰り広げられます。今年には台風十五号による被害等を鑑み、誠に残念ながら神輿・山車・御船の出祭や、安房神社遙拝殿での神事は中止になりました。令和二年は盛大裏に行われることを願うばかりです。

去る九月八日深夜、台風十五号が日本列島を襲いました。台風は南房総沖ではなく、東京湾を抜けるかたちで北上した為風の向きにより普段のそれとは全く違う甚大な被害をもたらしました。当社も倒木や突風などにより、本殿と神饌所を繋ぐ回廊が損壊しました。また境内には拝殿横の大銀杏の幹や樹齢百年を超す大木数本が無残にも倒れましたが、幸いにも人的被害も無く建物の被害も最小限に留まりました。これは、大神様の御加護によるものであることは疑いの余地はございません。



被災直後から神職総出で復旧作業にあたり、途中氏子崇敬者の方々の御奉仕を頂戴しながら約二週間で倒木除去作業を終えました。



本殿と神饌所を繋ぐ回廊が倒木により損傷いたしました。木は取り除きましたが倒壊の恐れがありますので、お参りの際には十分ご注意ください。

(今後の主な祭典予定)

十月十日 午前九時半 館砲三期会慰霊祭齋行済

十月二十二日午前九時半 即位礼当日祭齋行済

十一月十四日午前九時半 大嘗祭神前奉告祭

十一月二十五日 午前十時半 新穀感謝祭

十二月二十六日 午前九時半 神狩祭

十二月三十一日 午後四時半

大祓式・除夜祭

一月一日 午前六時 歳旦祭

一月四日 午後四時半 有明祭

一月十四日 午後四時半 置炭神事

一月十五日 午前九時 粥占神事

二月三日 午前十時半 節分祭

※毎月一日 午前九時半 月次祭

神社豆知識

【大嘗祭(だいじょうさい)】

毎年秋、天皇陛下はその年の新穀を、御先祖である天照大御神をはじめ、神々にお供えし感謝を申し上げる「新嘗祭」を宮中で御齋行になります。なかでも、陛下が御即位後初めて行われる新嘗祭が「大嘗祭」です。大嘗祭は、天皇御一代に一度行われる祭祀で、御位につかれるうえで不可欠なものであり、数ある祭祀の中で最高の重儀とされています。

大嘗祭は、皇居内に特別に造営された「悠紀殿」、「主基殿」を中心とした「大嘗宮」において齋行されます。大嘗宮は古代の工法そのままの簡素な建物で、陛下はそこで古式に則った祭祀を親ら執り行われます。また大嘗祭は、全国の中から特別に選ばれた齋田から採れた米が神饌として供されるように、まさに国を挙げた祭祀でもあります。

新穀を神々に奉る祭祀は、古くは天照大御神がなさっていたことが「古事記」「日本書紀」に記されています。つまり、これは長い歴史を通じて変わることのない天皇陛下の御務めであり、陛下は大嘗祭を通じて天照大御神の御手振りを今の世に再現されているとも言えるでしょう。そして、国家・国民の安寧や五穀豊穡を、天照大御神をはじめとする神々に感謝、また祈念されているのです。

安房あづち茶屋

安房神社の神池前には「安房あづち茶屋」がございます。

秋に色づく神池後方の吾谷山あづちを眺めながら、癒し処として心静かに穏やかなひとときを過ごされますよう御利用下さい。

温かいおにぎりセットや、おみやげ物として房州銘菓もございます。是非お立ち寄り下さい。



営業日 金、土、日、

振替休日の月曜日

営業時間

午前十時半～午後四時

※境内自由参拝について

大晦日のみ終日参拝が可能ですが、それ以外については、**早朝六時～午後六時まで**となっております。

警備・防犯上の都合により、時間外は境内への立入りを一切禁止しております。

【御水取り・御砂取りの作法】

当社で「御水取り・御砂取り」をされる際には祈禱受付にて御申込み頂き、殿内にて御祓いを受けた後に御水取場・御砂取場にお進み頂いております。

これは御本殿近くの清浄な御水取場・御砂取場に、外界の穢れを持ち込まない為の重要な作法ですので、御時間に余裕を持って御来社されることをお薦め致します。また大型ポリタンクなどによる大量の御水取り、過度の御砂取りは御遠慮願います。なお、御神水飲用の際には**必ず煮沸いただきます**ようお願い致します。

※一般参拝者の御水取場・御砂取場への立入りは右記の理由から禁じております。また時間外の御水取り、御砂取りは一切出来ませんので、必ず受付時間内にて御申込み願います。

・神符守札の授与、御朱印

午前八時三十分～午後五時

・御祈祷、御水取りの受付

午前九時～午後四時三十分



令和元年十月日発行／安房神社々務所

〒二九四・〇二三三 千葉県館山市大神宮五八九番地

電話 〇四七〇・二八・〇〇三四 FAX 〇四七〇・二八・〇四三八

HP <http://www.awajinjya.org/>